

和歌山だよい

平成28年 3月号
(2016)



和歌山県植物公園緑花センター（岩出市）

CONTENTS

1. 知事メッセージ ······ P1
2. 和歌山県政トピックス ··· P2 ~ P11
3. お知らせ ······ P12 ~ P16
4. ふるさと歳時記 ······ P17 ~ P18

花と緑がいっぱい自然の美しさが楽しめる憩いの場となっている園内には、四季の花々が色とりどりに楽しめるパノラマ花壇や、熱帯、亜熱帯の色彩豊かな観葉植物の温室、子どもに人気のわんぱく広場などがあります。



18歳からの選挙権

今年から法律が変わって、18歳から選挙権が与えられることになりました。年々選挙の投票率が下がり、とりわけ若年層の投票率が低いという事実があります。人類が勝ち得た民主主義の最も大事な投票権を行使しないというのは、もったいないと憂慮しています。18歳、19歳の諸君も是非投票に行ってもらいたいと思います。

世間でもそのようなキャンペーンをやっていて、この間テレビで若い人や大人を集めて、若い人の投票についての討論番組がありました。番組では、まずアナウンサーが状況解説をしました。そこでは、「少子化の影響で若年層の人口が減っているうえに、その投票率が低いので、票を獲得したい候補者は、どうしても票の多い高齢者の意に沿うようになる。高齢者は高齢者対策を手厚くしろというので、結果的にできあがる政策は、若い人向けの政策は薄く、高齢者向けの政策は手厚くなってしまう」という内容の解説でした。「これでは困るので、若い人にもっと投票に行って、政治の方向をもっと若い世代に対するものに持って来よう」というわけです。

私は若い人に投票をさせようとする番組の意図を評価していますが、この解説をもとに、高校生諸君が話す内容を聞いていて、少し心配になりました。というのは、それぞれ話す中味は違うのですが、ほとんど全員が、この番組の解説を疑うことなく受け入れたうえで発言しているのです。すなわち、高齢者は高齢者向けの政策を手厚くしろと言い、若い人向けの政策には無関心だというのですが、本当にそうでしょうか。私は高齢者の方々の意見を沢山聞いていますが、その方々の多くは、子供や孫のために良いことを沢山してくれと思っておられると思います。子供や孫はどうでも良いから、自分たち高齢者だけを大事にしてくれという人は、少ないのではないでしょうか。このように、立派な番組の中味ですら、「ほんまかいな」「なんでやろか」と考えなければならない話がいっぱいあります。

若い人たちよ。選挙に是非行ってください。でもその時、候補者の主張はもちろんのこと、世に広く流れている世論なるものにも、常識なるものにも、「ほんまかいな」「なんでやろか」と自分の頭でよく考えて投票をしてください。



2/10 記者会見にて

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●平成28年度当初予算・新政策を発表！

平成28年度は、3つの意味で大変重要な年です。

ひとつは、紀の国わかやま国体・大会に向け様々な施策を講じてきた結果、両大会とも大成功を収めることができましたが、その成果を将来につないでいく必要があります。

ひとつは、超高齢化の進展や経済のグローバル化など、社会環境が著しく変化する中で、国の政策も大きな曲がり角にさしかかっており、県としても、その変化のスピードに乗り遅れない速やかな対応が求められています。

ひとつは、昨年6月に、いち早く策定した「和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略」で掲げた目標の達成に向けてスタートダッシュをかける必要があります。

こうしたことを受け、平成28年度新政策は、人口減少の克服と持続可能な和歌山の実現のため、「和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略」で定めた5つの基本目標①少子化をくい止める②安定した雇用を創出する③和歌山県への新しい「人の流れ」を創造する④安全・安心な暮らしを実現する⑤時代に合った地域をつくる、を柱に推進します。

また、当初予算に加え、国の補正予算を活用した平成27年度補正予算も組み合わせ、これまでの取組にとらわれない強力かつ大胆な施策を展開します。

平成28年度当初予算 5,752億円

[対前年度比2.0%減]

※公共投資予算 1,155億円

[対前年度比7.3%減]

【1. 少子化をくい止める】

これまで結婚から妊娠、出産、子育てまでの切れ目のない対策を行ってきた結果、本県の合計特殊出生率は1.32(H17年)から1.55(H26年)まで回復しました。しかし、出生児より死者が多い「自然減」をくい止めるためには、2.07まで上昇させる必要があります。

そこで、これまでの施策を総点検し、平成28年度は親世代と子ども、両方の立場から課題を抽出して新政策に反映しています。

結婚・出産・子育てまでの切れ目のない支援

親世代の立場からは、出産・子育てにかかる経済的負担が大きいことがあげられます。また、安心して出産できる医療体制、女性の活躍の場拡大等に伴う待機児童の増加といった課題もあります。

そこで、不妊治療の自己負担を7割から3割に、また、第3子以降の保育料を小学校就学前まで無料とするなど大幅に拡充します。

また、公的病院の産科医の確保のため、そして待機児童対策として保育人材確保のため、返済免除付き貸付制度を創設します。

さらに、在宅就労(テレワーク)促進による家庭での仕事と育児の両立支援など、あらゆる施策を総動員し、未来を支える子どもを安心して産み育てることができる社会を実現していきます。

社会で子どもを育む環境づくり

子どもの立場からは、帰宅してもひとりで過ごさざるを得ない子どもや、経済的な理由から進学を断念する子どもが存在するといった課題があります。

そこで、民間団体や市町村などが行う子どもの居場所づくりの取組を支援します。

また、今でも大問題となっている児童虐待については、県と市町村の役割分担を明確にして、それぞれの地域で複数の目で見守れる体制を整備するとともに、電話による相談を充実させるため、24時間、相談員が直接対応するようにします。

そして、保護者のいない児童や虐待等により親元で暮らすことのできない児童を健全に育てるため、紀南地方にも「里親支援機関」を整備します。

さらに、進学意欲と学力が高いにも関わらず経済的理由で進学困難な学生を支援するため、4年間で総額240万円の給付金制度を創設するなど、社会で子どもを育む環境づくりに取り組みます。

【2. 安定した雇用を創出する】

本県では、平成8年以降20年連続して転出者が転入者を超過している状況であり、転出超過を抑制することが必要です。

「ひと」が地域に定着するためには、生活を支える「しごと」が求められます。

そのため、従来の産業振興施策に加え、新たな領域を切り開く取組を展開していきます。

中小企業の振興

今後5年から10年先の成長に必要と考えられる「コア技術」の開発、企業支援ツールを集約した「オープンラボ」を工業技術センターに整備します。

また、新規開業率が低下している中、これから県経済をけん引する新たな担い手を誘発し育成するため、優秀なビジネスプランを持つ創業者に対して、ベンチャーキャピタルが指導や出資等の支援を行う「わかやまスタートアップ創出」を取り組みます。

そして、優秀な人材を確保するために、県内企業に就職する学生が借り入れた奨学金の返還金を上限100万円まで助成する制度を企業と協働して創設します。

こうした取組により、県内企業の成長力強化を図っていきます。

農林水産業の振興

農業大学校を改編して優れた経営感覚をもつ農業者・林業者を育成するとともに、担い手に農地を集積し、露地野菜や施設園芸に対応するための、ほ場整備を推進します。

また、木材の素材生産量増加に向けてゾーニングを行って「環境林」と「経済林」に分け、客観的な条件を設けて「経済林」の中から重点エリアを選んで集中的に投資をしていきます。

さらに、農林水産業と観光を融合した「グリーンツーリズム・ブルーツーリズム」を推進し、新たに年間2万人を受け入れる体制を整備します。

こうした取組により、たくましい農林水産業の創出を図っていきます。

観光の振興

現在放映中の大河ドラマ「真田丸」を活用して、「戦国わかやま」をコンセプトに「戦国ルート」といった広域的観光地域づくりにより、新たなターゲット層への働きかけを行っていきます。

また、新たな観光資源として「水」をテーマに、まだ知られていない「和歌山」を発信し、世界遺産をはじめとするブランドとゾーニングを行うことで、観光客を誘導していきます。

そして、増加している外国人観光客をがっちり受け止めるため、国際線誘致に向けた南紀白浜空港の受入体制整備や多言語電話通訳サービスの導入などを行っていきます。

さらに、和歌山県世界遺産センターのリニューアルや案内サインの再整備、それから、関西空港と高野山のバスルートを新設します。

こうした取組により、「和歌山ブランドの拡大」に拍車をかけていきます。

【3. 和歌山県への新しい「人の流れ」を創造する】

和歌山で「暮らす」「働く」「学ぶ」

国の交付金を活用して最大250万円の移住奨励金などのサポートが満載の「わかやま移住・定住大作戦」を、国の補助がなくなる平成28年度においても強力に推進します。

全国トップクラスの移住定着率を誇る地域の魅力をアピールし、その上で、徹底的に移住者目線に立ち、ニーズに合わせたきめ細かな対応や地域の特色を活かした現地体験会、さらには、先輩移住者やワンストップパーソンとの交流などを実施していきます。

また、企業誘致に力を入れるとともに、中学生や高校生の県内就職を後押しするために、企業紹介冊子の作成や就業体験などを実施していきます。

そして、県立医科大学への薬学部新設や看護大学の誘致などにより県内に学ぶ場を確保し、若者の流出を防ぎます。

【4. 安全・安心な暮らしを実現する】

大規模災害から命を守る対策の推進

地震・津波や風水害など、あらゆる自然災害から県民の命を守ることは何よりも大切です。「地震や津波が来ても一人の命も失わせてはならない」との方針のもと、これまでの防災・減災対策を総点検し、取り組むべき施策を盛り込んだ「和歌山県国土強靭化計画」に基づき、ソフト・ハードの両面から対策を進めます。

また、地震や津波が来ても迅速に復興できるように、沿岸19市町と復興計画の事前策定に取り組みます。

さらに、「世界津波の日」制定を契機として、濱口梧陵翁の精神を全世界へ発信します。

質の高い医療と福祉の充実

現在、急性期機能の病床が集中しており、高齢者が増加する今後は回復期機能病床が不足することが予想されます。

そこで、急性期から回復期、慢性期、在宅医療に至るまで病状に応じた適切な医療を将来にわたって提供できるよう、「地域医療構想」に基づきバランスのとれた病床再編に取り組みます。

また、全県的な在宅医療推進のネットワーク構築や介護サービスの充実などにより、地域包括ケアシステムを構築していきます。

さらに、県民総参加の健康づくり運動を推進するとともに、「がん対策」として、市町村ごとの検診精度の評価や公表、効果的な啓発など検診体制の強化に取り組みます。

良好な治安の確立と交通安全の確保

事件や事故で命を落とすことは、大変悲しいことです。

そこで、誰もが安全で安心して暮らせる地域を実現するため、防犯カメラの増設などによる治安の向上に努めます。

また、子どもや高齢者が安心して生活できるよう、駅や学校周辺などの歩道整備を加速化させます。

【5. 時代に合った地域をつくる】

公共インフラの整備

「命の道」、「チャンスの道」となる「紀伊半島一周高速道路」の実現や、高速道路を補完する幹線ネットワーク道路の整備に取り組みます。

また、国際線誘致に向けたターミナルビルの建設、さらには民間活力によるコンセッション等による運営効率化など、南紀白浜空港の活性化に取り組みます。

まちの再生

中心市街地の空洞化や外縁部への無秩序な拡散に歯止めをかけるため、市町村と連携して都市計画を適切に運用していきます。

また、空き家について、利活用可能なものは流通の促進を、再利用が見込めないものは廃屋として撤去するなど、防災・衛生・景観等、地域住民の生活に影響が及ぼさないように物件の状態に応じた対策を推進します。

地域の再興

豊かな自然や特色ある産業など地域固有の資源を活用して、個性豊かで活力ある地域をつくるため、世界ジオパークの認定に向けシンボルとなる「南紀熊野ジオパークセンター」の整備や、減少しつつある本県の生物多様性を保全するための取組を推進します。

また、関西初の世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」を地域の活性化に活用します。

文化・芸術・スポーツの振興

県民の文化活動への意識を高めるため、平成33年の本県での国民文化祭開催を目指した取組をスタートします。

また、スポーツを通じて和歌山をさらに元気にするため、海外ナショナルチームなどのスポーツキャンプ誘致をさらに推進するとともに、国体・大会を契機としたスポーツの盛り上がりを、来年の全日本マスターズ陸上から平成33年の関西ワールドマスターズゲームズへとつなげます。

学校教育の充実

子どもの学力のさらなる向上を図るため、優れた指導法を取り入れるなど教員の指導力を高める取組を推進します。

また、深刻化しているいじめや不登校の問題について、有識者の意見を取り入れながら重点的に取り組みます。

●「和歌山殿堂」を創設！～殿堂入り第1号は和歌山電鐵「たま名誉永久駅長」～

和歌山県を国内外に発信し和歌山に元気を呼び込むだけでなく、県民の皆さんをはじめとする世界中から愛された人や動物を、その素晴らしい業績とともに将来にわたってたたえるため、「和歌山殿堂」を創設しました。そして、殿堂入り第1号は、和歌山電鐵「たま名誉永久駅長」となりました。

平成11年に誕生した「たま」は、平成19年に和歌山電鐵貴志駅長に任命されて以来、執行役員、社長代理、ウルトラ駅長と異例の出世を遂げる中、存続の危機にあった和歌山電鐵貴志川線の利用者を増加させたほか、県内への外国人観光客の誘致等に大きく貢献しました。それだけでなく、現在到来している猫ブームの火付け役ともなっています。

昨年6月たまが亡くなり、国内外から約3,000人の方が参列するなか社葬が執り行われましたが、和歌山電鐵株式会社の小嶋光信社長から最後の辞令が出され、名誉永久駅長に任命されました。

県では、たま駅長の功績に対し、和歌山県初の貴族として平成20年に和歌山県勲功爵（和歌山でナイト）の称号を授与しました。その後も、たま駅長の人気はとどまるところを知らず、その集客力はもはや神業であるとして平成23年には和歌山県観光まねき大明神を委嘱してきました。たま駅長のこうした功績を歴史に残すためには、これまでの県の制度に当てはまるものがないとの思いから、「和歌山殿堂」の創設に至りました。和歌山殿堂は、県立図書館文化情報センターの一画に設け、ブロンズ製のレリーフや功績を紹介するパネル等を展示しています。

2月16日には除幕式を行い、レリーフ等をお披露目したほか、仁坂知事から小嶋社長に、レリーフのレプリカを授与しました。知事は、「たま駅長は小嶋社長のパートナーとして貴志川線を支え、和歌山の名を世界にとどろかせてくれた。」と功績をたたえ、たま駅長のマスコットとともに出席された小嶋社長は、「たま駅長の声が聞こえ『恥ずかしいけど、嬉しいにやん。』と言っていた。」と、たま駅長に代わってお礼を述べられました。

和歌山殿堂の開館時間は、平日（月曜を除く。）の10時から19時まで、土・日・祝日は10時から18時までとなっています。皆さんも是非お越しください。



●県スポーツ賞表彰式を開催！

県では、スポーツ水準の向上や振興に貢献された方、または、素晴らしい成績を残した選手や団体にスポーツ賞をお贈りしています。54回目となる今回は、スポーツ功労賞、スポーツ優秀指導者賞、スポーツ顕彰など5つの賞を、個人215名と70団体にお贈りしました。昨年の紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会での県選手団の活躍もあり、前回よりも受賞者は大幅に増加しました。

2月17日の表彰式において、仁坂知事は、「昨年は、紀の国わかやま国体で男女総合優勝でき、紀の国わかやま大会でも多くの方々に感動を与えていただいた。今後とも、県のスポーツの発展のために、それぞれの立場で貢献してください。」とお祝いの言葉を述べ、受賞者を代表してスポーツ功労賞の横尾英治さんが、「チャレンジ精神を忘れず、本年の岩手国体をはじめとする全国大会に向けて、より一層の精進を積み重ね、スポーツを通して元気で活力のある和歌山を目指していく。」と抱負を述べられました。

7歳から85歳の方まで様々な競技で活躍されている幅広い年代の方々が受賞されるなど、県内では生涯にわたってスポーツに親しむ気運が高まっています。受賞者の皆さんには、今後さらなる活躍を期待します。

県では紀の国わかやま国体終了後も、指導者の養成、ジュニア選手の育成など競技力向上に関する予算を確保し、国体での上位進出を目指していきます。

なお、主な受賞者は以下のとおりです。



(敬称略、順不同)

スポーツ功労賞：スポーツの振興に著しい功績を挙げた方々			
松原秀機	ソフトテニス競技	県カヌー協会	県空手道連盟
木村祐三	ソフトボール競技	県剣道連盟	県自転車競技連盟
阪本憲二	障害者スポーツ	県セーリング連盟	県ソフトテニス連盟
横尾英治	剣道競技	県体操協会	県なぎなた連盟
三浦利枝子	なぎなた競技	県ホッケー協会	県レスリング協会
市川浩之	フェンシング競技		
市川真知子			
上野 孝	自転車競技		
スポーツ優秀指導者賞：スポーツ選手の育成に尽力した方々			
有馬光男	剣道競技	柴田達也	体操競技
神崎 浩		森下 浩	レスリング競技
大野京子	なぎなた競技	高橋 章	ホッケー競技
三浦恭資	自転車競技	飛田尚彦	
内田雄一	馬術競技	中村大吾	サッカー競技
野村雅彦	ボート競技		
スポーツ顕彰：国際的な大会等で優秀な成績を挙げた方々			
古川高晴	アーチェリー競技	田中美紗樹	セーリング競技
武市 樹	ウェイタリング 競技	高野芹奈	
嶋本麻美		増田健人	ソフトテニス競技
宮田悠佑	カヌー競技	平久保安純	
西山史扇		田中佑典	体操競技
三口智也	近代五種競技	榎 淸史	なぎなた競技
窪木一茂	自転車競技	山本千代	
中村智太郎	水泳競技	増元拓巳	馬術競技
多田桃子	セーリング競技	西岡詩穂	フェンシング競技
栗栖佐和		松本匡史	ホッケー競技
高山大智		瀬滝大記	陸上競技
中野翔太		自転車競技県チーム	

●わかやま創業キックオフセミナー「わかやまDEベンチャー」を開催！

県では、今年度策定した「第二次和歌山県産業技術基本計画」に基づき、今後の県内経済を引っ張っていく「新たなプレイヤーの創出・育成(創業支援)」を進めているところです。

その一環として、都市圏でのU I Jターン創業希望者を発掘するため、2月27日、ベルサール東京日本橋(東京都中央区)において、わかやま創業キックオフセミナー「わかやまDEベンチャー」を開催し、100人を超える方々に御参加いただきました。

串本町出身で株式会社エスアールアイ(白浜町)の代表取締役であり、東京から白浜町に本社を移すこととなったクオリティ株式会社の代表取締役でもある浦聖治氏、農産物を各地で販売する仕組みを構築した株式会社農業総合研究所(和歌山市)の代表取締役CEOの及川智正氏をお招きし、先輩起業者として基調講演をいただきました。

和歌山の中でも特に白浜を好まれている浦氏は、「様々な業種の現場の人材が共に仕事し、遊び、滞在するなど密な交流を通して、イノベーションを興すこと(Innovation Spring 構想)が重要であり、白浜町の新本社屋にも、交流・滞在のスペースを設ける予定である。」と話されました。

I T技術を駆使して全国の生産者とスーパーを直接つなぐ新しい流通システムを開発し、各地のスーパーに「農家の直売所」コーナーを設け、そこに生産者が自由に出荷できる新しい仕組みを作り上げた及川氏は、「和歌山県で起業すると目立つという創業のメリットがある。また、情熱が一番重要で、場所は東京でなくても問題ない。」と、それぞれ実体験を交えつつお話しされました。

その後、講師のお二人と株式会社セールスフォース・ドットコムの吉野隆生白浜オフィス長、株式会社B E Eの久保田善文代表取締役をパネラーとするパネルディスカッションを実施し、「豊かな自然環境・農産物があり、ワークライフバランスに優れ、誘致後のサポートも充実している。」と和歌山県での創業の魅力を発信しました。県からも、創業の現状や創業支援制度等について説明を行いました。

県では、このセミナーを契機として、創業の気運を醸成とともに、創業・第二創業者の発掘・ビジネスプラン審査会の実施を通じて、全国規模の、そしてグローバルに展開する企業を育成していきます。



●クオリティグループが白浜町へ進出

セキュリティソフトウェアの企画・開発・販売等を手がけるクオリティグループの中核企業であるクオリティ株式会社(本社：東京都千代田区)が、白浜町に本社を移すことが決定しました。

また、同グループで平成13年に白浜町に設立された株式会社エスアールアイについても、町内で拡張移転することとなりました。これで、平成18年12月以降の企業立地件数は、148件となりました。

クオリティ㈱は、グループ企業へのシェアードサービスの提供やパッケージソフトウェアとクラウドサービス等の商品企画、マーケティング業務を行っています。また、(株)エスアールアイは、クオリティ製品のソフトウェア開発、サポート業務を行っています。この度のクオリティ㈱の本社移転に伴い、クオリティグループでは、より積極的に新たな事業展開を推進していくこととなります。

新本社は今年10月に操業開始予定で、3年間で地元雇用者5名が見込まれています。

●企業誘致を一層推進するため新たな工業団地を開発！

県では、これまで10,000件を超える企業訪問を積み重ね、約150社の立地が実現しています。その結果、県内の企業用地は残り少なくなっている状況でした。

こうしたこともあり、平成25年3月29日に、南海電気鉄道株式会社・橋本市・県の3者で協定を締結し、あやの台の北部用地(橋本市隅田町)における新たな工業団地開発の実現性等について、協力して調査・検討を続けてきました。そしてこの度、企業進出の状況や事業の採算性から工業団地開発について合意に至り、平成28年2月29日、第1次事業細目協定を締結しました。

当該地域は、京奈和自動車道の延伸等による交通アクセスの向上や、東日本大震災以降の内陸部の工業団地へのニーズ増大により、企業進出も順調に増加しています。こうしたことから、将来を見据えた新たな工業団地の確保が急務であり、時宜を逸することなく、工業団地の開発を進めていくこととなったものです。

第1次事業計画は約84ha(全体計画約140ha)で、事業費約50億円を3者が負担し、平成30年度から造成工事(第1次事業)を実施する予定です。

県では、ニーズの高い工業団地を開発し企業誘致をさらに推進することで、雇用の増大と地域経済の活性化を図ります。



●「よしくま祭り～つなげよう～！紀伊半島の人・魅力」を開催！

和歌山、三重、奈良県にまたがる吉野熊野国立公園は、吉野山から大峰山、大台ヶ原までの山岳地帯と南紀の海岸、さらに熊野川、北山川一帯で構成されています。熊野川をはじめとする大小河川が深く谷を刻み、瀬崎や北山崎に代表される渓谷美をつくりだしているほか、断崖が数多い海岸では変化に富んだ景色が見られます。

この吉野熊野国立公園指定80周年と、みなべ町から串本町に至る県立自然公園区域とその周辺海域まで大規模に拡張されたことを記念して、白浜会館(白浜町)において、「つなぐ」をコンセプトに「よしくま(吉野熊野国立公園を中心とした地域)祭り～つなげよう！紀伊半島の人・魅力～」が開催されました。

2月13日は、「つなげよう “よしくま”」と題して、南紀熊野ジオパークでのジオツアーや串本での各種体験プログラム、日置川での修学旅行受入れなど、国立公園を舞台に自然資源を活用した取組をそれぞれ紹介しました。その後、「つなげよう、支えよう森里川海プロジェクトミニフォーラム in よしくま」と題して、「森」「里」「川」「海」の各フィールドで活躍する方々をパネラーとして招き、よしくまを中心とした紀伊半島の森里川海のつながりや恵み、それらと人とのつながりを再確認するとともに、その恵みを持続的に引き出す取組や地域づくりに活かす方法について、意見交換しました。

2月14日には、「第3回南紀熊野ジオパークフェスタ」を開催し、日本ジオパーク委員会の中田節也副委員長から、「ユネスコ世界ジオパークについて」と題してユネスコ世界ジオパーク審査の仕組みや、同氏が審査に関わった世界各地のジオパークでの体験談などの基調講演をいただきました。その中で、南紀熊野ジオパークが世界ユネスコジオパークを目指すにあたってのアドバイスもいただきました。2日間で2,500人以上が訪れる盛況となりました。



県では今後も、よしくま地域の多様で特色ある取組や人・自然の恵みをつなぐとともに、国内外に南紀熊野ジオパークの魅力を発信し、交流人口や定住者の増加など、地域の活性化につなげていきます。

●「世界津波の日制定記念講演と稻むら太鼓」を開催！

安政南海地震の際、濱口梧陵翁は「稻むらの火」により、津波から多くの命を救い、その後、私財を投じて広村堤防を築堤することで村を復旧・復興に導きました。この故事にちなんだ毎年11月5日が、国連で「世界津波の日」に制定され、県の偉人である濱口梧陵翁の功績が世界中に広まることは、非常に名誉なことです。

この度、「世界津波の日」の制定を記念して、県と濱口梧陵翁にゆかりのある広川町とで、2月26日、県民文化会館において、講演や「稻むら太鼓」の演奏などのイベントを開催しました。制定に尽力された二階俊博衆議院議員も出席され、「世界中で発生する自然災害から一人でも多くの命を守るため、世界各国に『世界津波の日』の精神を伝えていくとともに、11月5日の取組について協力を願いていきたい。」と、参加の約2,000人に挨拶されました。

記念講演では、関西大学社会安全学部教授で人と防災未来センター長でもある河田恵昭氏をお招きし、「和歌山から発信する世界津波防災の知恵」と題した御講演をいただき、「たくさんある防災の知識について理解を深めなければ意味がない。世界津波の日の制定を契機として、津波災害をなくすよう働きかけなければならない。」と話されました。

その後、記念イベントとして、広川町の小学生による合唱が行われたほか、俳優の杉良太郎さんが構成・プロデュースの「濱口梧陵ご献上稻むら太鼓」が演奏され、来場者は迫力ある太鼓の音に聞き入っていました。また、歌手の伍代夏子さんにも出演いただきました。

県では、今後も防災対策に取り組むとともに、「世界津波の日」の意義を世界に向け発信していきます。



●「第10回わかやま産品商談会 in 大阪」開催！

県内の農水産物・加工食品の販路拡大を促進するため、2月1日、大阪マーチャンダイズ・マート（大阪市中央区）において、毎年恒例となってきた「第10回わかやま産品商談会 in 大阪」を開催しました。この商談会には、新規出展17業者を含む74社の特色ある生鮮食品・加工品・酒類・スイーツなどが集結。来場されたバイヤーに対し、「おいしい！健康わかやま」をテーマに「和歌山の食」の魅力をPRしました。



このうち11社は、県が実施する商談会成約率アップのためのセミナーに参加し、修得したスキルを活かして商談に挑みました。また、仁坂知事も来場されたバイヤーに県産品をPR、県内の商業・農業高校の生徒もお手伝いにかけつけてくれました。

国内外の百貨店・スーパーの商品仕入担当者や外食産業の関係者550人が来場される中、それぞれの事業者が自慢の商品をアピールするとともに、通販大手の株式会社フェリシモのバイヤーとの個別商談会も併せて実施しました。

場内に設けた大手食品メーカーとのコラボ商品や本格梅酒のPRコーナー、インターネットで県産品が閲覧できる「和歌山県産品カタログ」体験コーナー、「プレミア和歌山」紹介コーナーのほか、世界農業遺産に認定された「みなべ・田辺の梅システム」の紹介コーナーなども注目を集め、大盛況のうちに和歌山の食材を売り込む絶好の機会となりました。

今月の和歌山県政トピックス

●スーパー・マーケット・トレードショー2016に出展！

スーパー・マーケット・トレードショーとは、スーパー・マーケット等の小売を中心とする流通業界に最新情報を発信するプロ向けの展示商談会です。今回は2月10日から2月12日の3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催され、県からは和歌山県ブース「わかやま紀州館」を8回連続で出展しました。

過去最大規模となる17小間のブースに、県内から以下の29事業者が出演し、梅干やみかんジュース等の果実加工品、日本酒、果実酒、金山寺味噌、調味料など、和歌山ならではのバラエティに富んだラインアップとなりました。3日間で、首都圏をはじめ全国のバイヤー約9万人が来場し、バイヤーの皆さんに県産品のPR・商談を行い、販路拡大を図りました。



8回の出展を通じて年々成約金額も上昇し、県内事業者からの注目も高まるなど、県産品の販路拡大の気運はますます盛り上がりを見せており、こだわりの県産食材が今後一層全国で流通することが期待されます。

事業者名	主な商品	事業者名	主な商品
梅光園ワールド商会(株)	梅干、梅干加工商品	(株)伊藤農園	カンキツジュース、寒天ジュレ
(有)柑香園	果実ゼリー、ジャム	J A 紀の里	ハッサクカレー、ハッサク缶詰、ジャム
J A 紀北かわかみ	まるごと柿酢、あんぽ柿	井上梅干食品(株)	梅干、干し梅
河本食品(株)	梅干、梅酒	マルヤマ食品(株)	梅干、ウメパワープラス
中田食品(株)	梅酒、梅干	もりもとや	干し柿、柿加工品
(有)深見梅店	梅干、梅肉、梅エキス	(株)小竹農園	調味梅干
(株)小南農園	みかんジュース、ゼリー	(株)やまだ	金山寺味噌、めはり高菜漬
(株)濱田	有機梅干、調味梅干	(株)岩本食品	梅干、梅干加工品
(株)丸惣	有機梅干、種無し梅	ダイナミック食品(株)	焼肉のタレ、ドレッシング
J A 紀州	Tomato-ume、塩零梅	(株)酒のかまくら	梅酒、みかん酒
(株)佐々木農園	梅ゼリー、梅ジュース	古由青果(株)	ジェラート、冷凍フルーツ
(株)大覚総本舗	ごま豆腐、ごまスイーツ	(株)世界一統	和歌のめぐみシリーズ
紀州田辺うめ振興協議会	青梅、冷凍梅、梅干	(株)紅梅園	梅シロップ、梅デザート
(株)九重雜賀	吟醸酢、調味酢、ポン酢	(株)早和果樹園	みかんジュース、ゼリー
(有)樽の味	熟成ぬか床、浅漬けの素		

●「和歌山県民歌」の普及を促進！

超高齢社会の到来、大規模災害の発生などが危惧されている今日、地域住民同士の支え合いなど共助意識の醸成を図ることは大変重要です。このようなかつ、県では各種の県民運動を展開し、住人同士の関係が希薄化している地域コミュニティの再生に取り組んでいます。



その取組の一環として、「和歌山県民歌」を普及させるため、県庁の電話保留音や各種式典等での斉唱、カラオケ配信などに取り組んできました。この度、県民歌のより一層の普及を図るため、CD(伴奏用と模範演奏用)を作成し、県内の小学校に配布することで、全小学校で音楽の授業に取り入れてもらうこととしました。

CDの収録は、昨年「NHK全国学校音楽コンクール中学校の部」において県代表となつた「和歌山市立貴志中学校」と「田辺市立東陽中学校」にお願いしました。

県では、次世代を担う子どもたちへの県民歌の普及を進めることによって、郷土愛を育み、あいさつ運動などと併せて「県民運動」を盛り上げていきます。

●首都圏で「御燈祭」をPR！

2月6日、銀座ブロッサム(東京都中央区)において開催された「古代歴史文化賞」記念シンポジウムにおいて、仁坂知事は県が誇る祭りの1つ「御燈祭」を首都圏の方々にPRしました。この日が、御燈祭の日と重なったことから、絶好の機会となりました。

知事は、「本年1月に国の文化審議会が、『新宮の速玉祭と御燈祭』を国の重要無形民俗文化財に指定するようにと、文部科学大臣に答申された。2月6日は御燈祭の日であるが、御燈祭は神武天皇を高倉下が松明を点してお迎えした伝説、つまり記紀神話に起源を持つ祭りである。熊野には、那智の火祭りもあるが、これらの火祭りは、イザナミと火の神カグツチが熊野の有馬村(花窟神社)に葬られていることから、地上に広まってしまった『死の穢れ』と『血の穢れ』を、火で清めるために起こった祭りとも考えられている。和歌山県には素晴らしい祭りがたくさんあるが、あまり知られていない。まず、子どもたちに知つてもらい、郷土愛を醸成していきたい。」と、和歌山の歴史・文化を紹介しました。



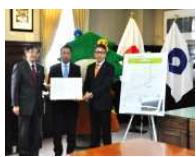
そのほかシンポジウムにおいて、古代歴史文化に関する書籍を表彰することを通して国民及び県民の歴史文化への関心を高めることを目的として創設された「古代歴史文化賞」の大賞受賞者に基調講演をいただきました。

●コーナン商事株式会社、積水ハウス株式会社が「企業の森」に参画！

「企業の森」は、企業や労働組合などの方々が社会貢献や地域との交流活動の一環として、県内の森林環境保全に様々な形で取り組んでいただく事業です。この度、コーナン商事株式会社、そして積水ハウス株式会社が、この「企業の森」事業を活用し、それぞれ「コーナンD I Yの森」、「積水ハウスの森」として、田辺市において森林保全活動を実施することとなりました。これで参画企業・団体数は71となりました。

積水ハウス㈱については、これまでにわたり森林保全活動に取り組んでいただきましたが、地元からの要望等もあり、更に森林保全を進めるため、2か所目となる森で新たな活動に取り組んでいただくことになりました。

今後両社は、10年間にわたり植栽や下草刈り等の森林保全活動に取り組まれますが、自然と触れ合い、地元の方々と交流していただけることを期待しています。



●東海和歌山県人会総会・懇親会開催！

2月4日、東海和歌山県人会総会・懇親会が、名古屋国際ホテル(名古屋市中区)において盛大に開催されました。開会にあたり、山口春三会長は、「昨年の国体・大会や高野山開創1200年、さらには真田丸等により、和歌山県の知名度が上がっていることを嬉しく思う。将来発生が危惧される大地震に備え、密接に連携がとれるような県人会組織をつくりたい」と挨拶されました。また、仁坂知事は、昨年の県内の盛り上がりや道路整備の進捗状況について紹介するとともに、地方創生に関連する取組を推進するに当たって一層の御協力をお願いしました。懇親会では、出身地市町村ごとに設けられたテーブルで、思い出話に花が咲き、串本町出身の演歌歌手 小芝陽子さんのステージや県産品コーナー、抽選会など今年も大いに盛り上りました。

東海和歌山県人会の皆さんには、ふるさと納税等で御協力をいただいていることに感謝申し上げます。



●ふるさと和歌山応援寄附(ふるさと納税)の御案内

ふるさと和歌山応援寄附を通じて御支援いただいている皆様に、今年度から「お礼の品」を拡充しています。お礼の品は、プレミア和歌山の事業者から特別に提供いただいた梅干しや菓子類、飲料などで、1万円以上の御寄附をいただいた方に、魅力的な35品の中からお選びいただいた2品をお送りします。ただし、年度内(4月から翌年3月)におひとり様1回限りとなっています。

例えば、1万円の御寄附をいただいた場合、お礼の品の中には市場価格が5千円を超えるものもありますので、合計1万円以上の商品を選ぶことができます。さらに、ふるさと応援寄附は、住民税などの税金の控除があり、所得税・住民税で8千円の寄附金控除を受けることができますので、大変お得にふるさと和歌山を味わっていただくことができます。

全額控除される寄附金額の上限額は、家族構成や収入額によって異なります。

なお、1月以降の御寄附についての寄附金控除は、所得税については平成28年の税額から、住民税については平成29年の税額からの控除となります。また、現在、お礼の品について、見直しを行っています。プレミア和歌山の商品から2品選んでいただけるというところに変わりはありませんが、品目をさらに充実させるよう

準備を進めています。4月以降御寄附いただいた方には、新しいお礼の品のメニューから選んでいただけるようになりますので、楽しみにお待ちください。

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。皆様のお知り合いの方々にも和歌山に対する思いとともに、ふるさと和歌山応援寄附を御紹介いただければ幸いです。

引き続き和歌山県を応援してくださいますよう、よろしくお願いします。

★お問い合わせ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 南、嶋村、岡田

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail:furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

○寄附金控除のしくみ

(例)

寄附金 10,000円 の場合		
所得税 約800円	個人住民税 約7,200円	適用下限額 約2,000円
控除額合計 約8,000円		

全額控除される寄附金額の目安

自己負担額 2,000円を超える金額が全額控除される寄附金額の目安は下表のとおりです。

【注意】下表はあくまでも目安としてお考えください。

単身者の場合

給与収入	寄附金額目安
300万円	31,000円
400万円	46,000円
500万円	67,000円
600万円	84,000円
700万円	118,000円
800万円	141,000円
900万円	164,000円
1,000万円	188,000円
1,500万円	394,000円
2,000万円	572,000円

夫婦、子 2人の場合

給与収入	寄附金額目安
300万円	4,000円
400万円	17,000円
500万円	33,000円
600万円	53,000円
700万円	75,000円
800万円	109,000円
900万円	132,000円
1,000万円	157,000円
1,500万円	355,000円
2,000万円	532,000円

☆お問い合わせ窓口☆

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 宮脇

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

2品お選びいただけます！

平成27年度 お礼の品一覧

商品番号 1	商品番号 2	商品番号 3
<p>紀州五代梅の心 紀州南高梅のA級大粒 はちみつ梅干し(個包装) 10粒 紀州南高梅のA級品の4Lサイズのみを使用し独自の製法で一粒一粒大切に、通常のはちみつ梅の約2倍の1ヶ月もの間、漬け込み、熟成させています。まろやかで食べやすく、お茶うけにも最適の梅干しです。 【株東農園】</p>	<p>幸いろいろ (幸梅漬・しそかつお梅) 各 400g 人気の幸梅漬と、しそかつお梅(南高梅)のセットです。 幸梅漬：はちみつ入りの、うす塩風味は「池本」秘伝の美味しさ しそかつお梅：しそとかつおぶしであっさりとまろやかな仕立て 【株池本商店】</p>	<p>紀州産南高梅 はちみつ味(塩分約8%) 500g入り 紀州産の南高梅を国産の蜂蜜で漬け込みました。梅の酸味と蜂蜜の甘さが絶妙です。また、第47回全国推奨観光土産品審査会において農林水産大臣賞を受賞しました。 【いなみの里梅園】</p>
<p>紀州五十五万石木箱 550g 木箱入り単品 紀州南高梅を使用し、昆布出汁で丹念に漬け上げました。まろやかな風味を堪能していただける逸品です。 【河本食品株】</p>	<p>南高梅と梅黒酢セット 福寿梅 250g・永遠 250g 梅黒酢 290ml 紀州産南高梅「ふくじゅ梅」塩分10%(当店人気No.1)。はちみつで漬込んだ「永遠」塩分8%を各250g。南高梅を黒酢で漬け込んだ「梅黒酢」290mlのセットです。 【株紀州本庄うめよし】</p>	<p>紀州の逸品 百花一粒まるの梅 500g なんこううめジャム 200g×2本 紀州産南高梅を塩分7%のうす塩に仕上げた、あまずっぱい梅干しと黄色く熟した南高梅をたっぷり使い、風味豊かに仕上げた梅ジャムのセット。 【紀南農業協同組合】</p>
<p>紀州南高梅 夢葵 彩の舞 240g (16粒) はちみつ梅、しそ漬け梅、桜葉包み梅、昆布包み梅、4つのこだわり梅です。それぞれの味、香り、食感をお楽しみください。 【株紀和農園プロダクツ】</p>	<p>勝喜梅はちみつ仕立て「極」 12包入り 一粒一粒、心をこめて包まれた大粒の梅干しは、すっぱさを抑えた、まろやかな味。ジューシーな梅の果肉とはちみつの甘みが互いを引き立たせます。 勝喜梅、贈答用人気No.1。 【株勝喜梅】</p>	<p>紀州みなべ南高梅 雪どけ 調味梅干(塩分8%) 800g 環境にやさしい農法でつくられた果肉が柔かくとろける南高梅を相性の良いりんご酢とともに甘口に漬け上げた梅干しは絶品です。和歌山県優良産品認定。 【ふたばの梅干】</p>

商品番号 10	商品番号 11	商品番号 12
 <p>紀州南高梅 不動の梅 梅干し(うす塩味)850g</p> <p>紀州産南高梅の中でも大粒で特に良質な梅のみを使用し、一番人気の「うす塩味」に仕上げました。梅干本来の味と程よい甘みで、創業以来、幅広い世代の方に支持されています。</p> <p>【株不動農園】</p>	 <p>100%ピュアジュース 100%ピュアジュース 180ml みかん 4本 きよみ・はっさく各 3本</p> <p>和歌山県産無添加ストレートジュースです。味が濃く、のどごしすっきり、柑橘のおいしさを飲み比べてください。</p> <p>【株伊藤農園】</p>	 <p>青梅シロップサン紀っす 詰合せ(希釀用) 青梅シロップサン紀っす 720ml 1本 おひさまサン紀っす 720ml 1本</p> <p>「青梅シロップサン紀っす」は、青梅のさわやかな風味と懐かしい甘さ。大粒ロック氷砂糖・蜂蜜で作った安心の梅ジュースです。「おひさまサン紀っす」は、定番サン紀っすに、よい香りの黄色く熟した南高梅の果肉をたっぷり加えました。やさしい味わいです。【横山食品㈱】</p>
 <p>生姜丸しづり Wakayama Ginger Ale 250ml 24本入り</p> <p>和歌山市的情熱農業家が手間暇を惜しまずに入れて育てた新生姜を丸々絞った本格的なジンジャーエールです。ピリッとした生姜特有の喉越しを感じていただけます。</p> <p>【わかやま農業協同組合】</p>	 <p>大師の水 500ml ペットボトル×24本 /1ケース</p> <p>「大師の水」は世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」として名高い高野山のふもとで汲み上げた綺麗な水です。軟水(硬度 41mg/L)で、日本茶、紅茶、珈琲、ウィスキーの水割りに好相性です。</p> <p>【紀州紀文会(有)】</p>	 <p>竹清水 高野 500ml ペットボトル 24本入り</p> <p>ロリーゼロ・有機 JASマーク付で農薬不使用。</p> <p>【(有)美宝】</p>
 <p>天狗力餅 20個入り</p> <p>出来立てをお召し上がりいただくために、求肥餅と、ふ焼き煎餅を個別包装しております。ふ焼き煎餅の食感と香ばしさが、北海道産小豆のこし餡を包んだ求肥餅の甘さが絶妙です。ふ焼き煎餅でお餅を挟んでお召し上がり下さい。【菓匠 錦花堂】</p>	 <p>くろさわ牧場の アイスクリーム ミルク味 8個</p> <p>放牧育ちの牛たちの生乳を 100% 使用した牧場アイス。素直な新鮮ミルクの風味は、濃厚かつ上品な仕上りです。</p> <p>【農事組合法人 黒沢牧場】</p>	 <p>まるごと田村みかんゼリー セット 田村みかんゼリー 94g × 12個</p> <p>和歌山県有田地域のブランドみかん「田村みかん」を使ったゼリーです。やわらかな弾力の果肉はジューシーで、豊かな甘みが特徴です。【株小南農園】</p>

受付を終了しました

商品番号19	商品番号20	商品番号21
 <p>紀州銘菓かけろう・柚もなかセット</p> <p>かけろう 20個入・柚もなか 21個入り 口に入れた瞬間ほろりと溶ける優しい銘菓「かけろう」と、自然の風味を損なわぬように伝統の技法で焼き上げた柚あんが特徴の「柚もなか」は数々の賞を受賞し紀州銘菓として御愛顧いただいています。【株福菱】</p>	 <p>プレミア和歌山詰合せ 梅グラッセ 5粒×2 梅蜜 120g ×1 うめの塩 100g ×1</p> <p>紀州南高梅を砂糖、はちみつのみでじっくり漬け込んだ「梅グラッセ」と芳醇な「梅蜜」のセットに、紀州南高梅の梅酢から作り出した「うめの塩」を特別にセットしました。</p> <p>【(株)ふみこ農園】</p>	 <p>柚梅(ゆうばい)セット 古城梅 10ヶ入り むろの袖 10ヶ入り</p> <p>紀州特産の梅・柚子を形どった一口羊羹です。古城梅には天然しそ・梅肉、むろの柚子には天然柚子を入れています。文左の郷土菓子は種々の材料が良く調和を保ちながらかもし出すほのぼのとした、手作りならではの味です。</p> <p>【文左】</p>
商品番号22	商品番号23	商品番号24
 <p>銀鱗の輝 詰合セット 冷凍釜揚げしらす 260g、 ちりめん山椒 240g 化粧箱入り 「釜揚げしらす」は新鮮で良質なしらすを、赤穂の塩で釜ゆでました。「ちりめん山椒」は旨みのある新鮮なちりめんを、風味豊かな湯浅醤油とぶどう山椒で炊きあげました。山椒の実から弾ける、爽やかな辛みと香りが特徴です。【まるとも海産】</p>	 <p>紀州名産 なんば焼 なんば焼 300g × 3枚</p> <p>紀州では江戸時代から南蛮国より伝わる焼き蒲鉾です。近海で獲れた魚を主原料に、「すり身」にして昔ながらの製法で丹念に焼き上げており、身は白く弾力があり、加えて魚の素材を生かした、まろやかな味が格別です。</p> <p>【西山蒲鉾店】</p>	 <p>鯨大和煮セット 鯨大和煮 200g × 3個</p> <p>昔ながらの味付けにこだわり甘辛く仕上げております。地元で水揚げされた鯨を使用し、常に新鮮な鯨をお客様へ出荷させていただいています。</p> <p>【(有)カネヨシ由谷水産】</p>
商品番号25	商品番号26	商品番号27
 <p>紀州勝浦まぐろCAN (マグロ経済学シリーズ) まぐろ水煮 90g × 3缶 まぐろオイル漬け 90g × 2缶・ 180g × 3缶</p> <p>まぐろの町、那智勝浦発！！紀州勝浦産生まぐろ(ビンナガマグロ)を使用し、新鮮なままで身をさばいて缶詰にすることで独自の食感と味わいのある缶詰ができました。</p> <p>【勝浦漁業協同組合】</p>	 <p>紀州あせ葉寿司 化粧箱 鯖 14個入り</p> <p>紀州には全国に名産と知られる「南高梅」があります。その味わい、まろやかな南高梅を使用し、また魚は近海ものを厳選し艶やかに焼き上げた寿司飯をあせの葉(イネ科の植物)で一つ一つ丁寧に包みました。</p> <p>【(株)笠一】</p>	 <p>伊の恵みハム・ワインセット あらびき 110g、チョリソ 110g、 ももハム 150g、焼き豚肉 150g 豚肉のやわらかさ、くせのない肉本来の旨みが楽しめる伊ブタはすさみ町で生まれました。南紀熊野の美しい大自然の中でストレスなく育てられた豚を自社飼育、自社加工にこだわり、熟練職人手作りの本格ハム・ワインをぜひ御賞味ください。</p> <p>【(株)イブファーム】</p>

商品番号28	商品番号29	商品番号30
 <p>和歌山 丸高中華そば 3食入×2セット・4食入×1セット 昭和15年、先代が和歌山市高松で始めた屋台店が発祥。コクがあるのに、さっぱりとした、しょう油ベースのとんこつ味に仕上げました。 【(有)柏木製麺所】</p>	 <p>金山寺味噌 瓊醤 330g×2、450g×1 米・はだか麦・大豆、すべての穀類に麹菌を生育させ、瓜、茄子、紫蘇、生姜の野菜を生のまま漬け込み熟成させています。長期保存が利き、和歌山では、そのまま食べるお味噌(おかげ味噌)として大変重宝されています。 【川善味噌(株)】</p>	 <p>昔造り紀州金山寺味噌 600g×2個 純国産の精選した米、大麦、大豆と赤穂のにがり塩を仕込み塩に使用し、明治39年の創業以来変わらぬ製法でうり・なす・生姜・しそとともに約半年間熟成させたおかげ味噌の逸品。 【(株)やまだ】</p>
商品番号31	商品番号32	商品番号33
 <p>湯浅醤油詰合せ 手作り醤油生醤油濁り醤 720ml 1本、 湯浅たまり 900ml 2本 歴史的な背景を忠実に再現した本醸造生醤油濁り醤 720ml と松材の薪で火入れした手づくり醤油 900mlとの正真正銘手づくり湯浅醤油 3本セット詰合せです。 【(株)角長】</p>	 <p>熊野の塩セット 黒塩・梅塩・ゆず塩 各2個 炭塩 1個 黒塩は南紀熊野灘の海水を汲み上げ、釜で煮詰めて天日干しで仕上げた本格的な手づくり塩です。梅塩・ゆず塩・炭塩も御一緒に色々な味を御賞味ください。 【熊野黒潮本舗】</p>	 <p>大吟醸「熊楠」 720ml 世界一統ゆかりの巨人—南方熊楠の生誕120年に記念して発売した大吟醸酒。南方熊楠・昭和天皇御進講時の句をラベルに、縦型のダンボールケースに入れました。大吟醸の馥郁たる香りとまろやかな味。 【(株)世界一統】</p>
商品番号34	商品番号35	
 <p>大吟醸紀伊国屋文左衛門(黒) 720ml 「2014度モンドセレクション最高金賞受賞」。全量兵庫産「山田錦」を35%まで磨きあげました。極上の上品さと香の繊細さを持つ最高峰の大吟醸です。 【中野B C(株)】</p>	 <p>有田みかんスパークリングワインセット みかんシュワッ酒 330ml 6本 みかんの本格スパークリングワインです。有田で育った美味しいみかんを原料に酵母菌で大切に育てたワインをベースにスパークリングに仕上げました。アルコール度数も6%と飲みやすく、ポンッと開けてそのままお飲みいただける可愛い小瓶も魅力です。 【花野食品】</p>	

イベント情報(3月11日～4月10日)

期間	行事名	場所	問い合わせ先
3/13	紀州湯浅のシロウオ祭り	湯浅町・島之内商店街	湯浅町産業観光課 0737-63-2525
3/13	生石高原山焼き	紀美野町、有田川町 ・生石高原	紀美野町産業課 073-489-2430
			有田川町商工観光課 0737-52-2111
3/14～	大漁マグロ祭り	和歌山市・黒潮市場	黒潮市場 073-448-0008
3/15	涅槃会	和歌山市・了法寺	了法寺 073-471-1376
3/25	和歌浦天満宮大祭	和歌山市・和歌浦天満宮	和歌浦天満宮 073-444-4769
3/26	桜・舞・道成寺	日高川町・道成寺	同実行委員会 0738-22-2041
3/27	孫市まつり	和歌山市・ 本願寺鷺ノ森別院	孫市の会 073-423-3136
4/1～ 4/13	十三詣り	和歌山市・紀三井寺	紀三井寺 073-444-1002
4/2	桃山まつり	紀の川市・桃山グラウンド	同実行委員会 0736-77-2511
4/3	木祭り	和歌山市・伊太祁曾神社	伊太祁曾神社 073-478-0006
4/3	菓子まつり	海南市・橘本神社	橘本神社 073-494-0083
4/3	出世大黒天祭	広川町・養源寺	養源寺 0737-62-3314
4/3	ひな流し	田辺市・伊作田稻荷神社	田辺観光協会 0739-26-9929
4/10	隅田八幡神社講社祭	橋本市・隅田八幡神社	隅田八幡神社 0736-32-0188

みかんとお菓子の神様「田道間守」を奉る橘本神社では、菓子まつりが行われます。
全国から菓子業者が出席し、業界の発展を願い約400種類のお菓子が奉納されます。



自然・風物情報(3月中旬～4月上旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
3月中旬	ハクモクレン見ごろ	田辺市・ ハウスシイタケ生産組合	中辺路観光協会 0739-64-0501
3月中旬	菜の花見ごろ	橋本市・小峰台	橋本市観光協会 0736-33-3552
		上富田町・市ノ瀬	上富田町総務政策課 0739-47-0550
3月中旬	クリスマスローズ見ごろ	田辺市・新庄総合公園	田辺市管理課 0739-26-9966
3月下旬	ツキノワグマのベニー 冬眠からお目覚め	和歌山市・和歌山公園	和歌山城整備企画課 073-435-1044
3月下旬	サクラの開花	和歌山市・紀三井寺	紀三井寺 073-444-1002
3月下旬	シダレサクラの開花	田辺市・近露	中辺路行政局 0739-64-0501
4月上旬	サクラ満開	和歌山市・和歌山城	和歌山城整備企画課 073-435-1044
		紀の川市・百合山	紀の川市商工観光課 0736-77-2511
4月上旬	桃源郷モモ満開	紀の川市・桃山町	紀の川市商工観光課 0736-77-2511
4月上旬	シラス漁最盛期	湯浅町ほか	湯浅湾漁協 0737-62-4581
4月上旬 ～	こいのぼりの丹生川渡し	九度山町・入郷	九度山町商工会 0736-54-4268
4月上旬	姫ひじきの収穫始まる	串本町・姫の磯	和歌山東漁協西向支所 0735-72-0176



橋本市小峰台の橋本市民病院前の畑では、3月に菜の花が咲きはじめます。

～編集後記～

2月中は、週末の度に春の嵐が吹き荒れたところも多かったようですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。3月に入り、県内では春らしい陽気の日が続いています。

早いもので今年度も残りわずかとなりました。県庁内では、今年度中の事業完了に向けて、あるいは次年度へとスムーズにつなげていけるよう、それぞれの職員が最後の最後まで懸命に取り組んでいるところです。

今年度はなんといつても「紀の国わかやま国体・大会」という大きな目標がありましたので、それに向けて全力を尽くした一年がありました。成功裏に終わったことは大きな自信となりましたが、「元気な和歌山」の実現に向けて、まだまだ気を引き締めていかなければなりません。

誌面でも御紹介しましたが、平成28年度の新政策を発表いたしました。県が昨年策定した「和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく施策を実行に移していく初年度となり、非常に重要な年と位置づけています。国体が終了したこともあり、予算額だけを見ますと前年度を下回っていますが、産業・農林水産業の振興、安全安心な暮らしの実現など、課題の解決に向けて充実した施策のラインナップとなっています。

その中で、全国的にも同様ですが、「少子化をくい止める」ことが喫緊の課題となっています。昨年の国勢調査の結果に基づき、日本全体が初めて人口減少時代を迎えていることが発表され、和歌山県の人口も96万人余りと100万人を切っています。本県の合計特殊出生率については1.55と上昇の兆しが見え始めていますが、長期的に人口が減少しないとされる出生水準2.07まで上昇させられるよう、出産・子育てに係る経済的負担の軽減、社会全体で子どもを育む環境づくり等にこれまで以上に取り組んで参ります。

さて、花の便りは梅から桃へと移ってきました。四季折々の花が楽しめ、旬の美味しい食材が楽しめる和歌山の素晴らしいを実感しながら、新年度を迎えたいたいと思います。

知事室秘書課長 中村 一人

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので是非御覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願いします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

2016年(平成28年)3月 NO.95

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022